

## InfoWorks WS Pro 2023 の新機能リスト

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、InfoWorks® WS Pro 2023 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

このバージョンでは、下記では詳細に説明されていない様々な機能拡張やバグの修正も行われています。ご注意ください。

### 古いバージョンの移動可能データベースとゲストデータベースが読み取り専用として開くことが可能に

[移動可能データベースを開く](#) 際、古いバージョンの移動可能データベースやゲスト(その他)マスターデータベースを読み取り専用として開くことが可能になりました。

### 重要リンク分析実行時にシナリオ選択が可能に

[重要リンク分析](#) を実行する際に、[水理ランスケジュール](#) ダイアログで、シミュレーションに使用するシナリオを 1 つ選択することが可能になりました。これにより、選択したリンクが機能しない場合の影響を自動でテストレポートするための結果の比較が可能となります。現在、複数シナリオの実行はサポートされていません。

### ログ結果ウィンドウの情報をグループ化

[ログ結果ビュー](#) が更新され、ジョブの名前、ジョブの時間、ランの詳細、エンジンログ、その他ランに関する情報が分かりやすく分類されて表示されるようになりました。複数のシナリオがランに使用されると、シナリオ毎に情報が表示されます。

### ヘルプメニューに Desktop analytics が追加に

[Help menu](#) に [Data collection and use dialog](#) を開く Desktop analytics オプションが追加されました。このオプションは、製品におけるカスタマーエクスペリエンスの改善に参加することが可能です。**I want to participate** ボックスにチェックを入れると、InfoWorks WS Pro の使用状況について

て Innovzye 社がデータを収集することに同意したことになります。収集されたデータは、製品機能、パフォーマンス、品質の向上に使用されます。

## InfoWorks WS Pro のオートデスクライセンス

InfoWorks WS Pro は、Autodesk 社のサブスクリプションライセンスとして今後販売されるようになりました。このため、Autodesk 社が発行する InfoWorks WS Pro ライセンスを用いて InfoWorks WS Pro を動作させることが可能になりました。いくつかの制限はあるものの、InfoWorks WS Pro のモデリング機能を使用することが可能です。詳細は、[Autodesk Licence](#) トピックをご覧ください。

Autodesk ライセンスを用いて InfoWorks WS Pro を初めて起動する際には、[Autodesk サインイン](#) ウィンドウが表示されます。これにより、ライセンスが検証され、InfoWorks WS Pro が使用可能となります。詳細は、[Getting Started](#) トピックをご覧ください。